

オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第45号

2005年10月1日

<http://pweb.sophia.ac.jp/~s-yuga/asaj2/>

1. 2005年度総会・全国研究大会が6月11日(土)と12日(日)の両日、同志社大学今出川校地寒梅館で開催されました。多大なご協力をいただきました同志社大学・有満保江理事はじめ、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

2. 総会報告(2005年6月12日開催)

(1) 2004/2005年度事業報告・決算報告

下記の事業報告が決算報告(別掲)及び監査報告と共に承認されました。

『オーストラリア研究』第17号(2005年3月)を発行。

『オーストラリア学会会報』第42号、第43号、第44号を発行。

第16回全国研究大会(2005年6月)を同志社大学にて開催。

(2) 2005/2006年度事業計画・予算案

下記の事業計画が予算案(別掲)と共に承認されました。

『オーストラリア研究』第18号(2006年3月)を発行する。

『オーストラリア学会会報』(年3回程度)を発行する。

第17回全国研究大会(2006年6月)準備委員会を組織し、慶應義塾大学にて開催する。

「日豪交流年2006」企画行事(3頁参照)を実施する。

地域研究会(3頁参照)を開催する。

3. 第6期第2回理事会報告(2005年6月11日、12日)

2.の総会議事以外に、下記の事項につき承認されました。

(1) オーストラリア研究編集委員会を同志社大学言語文化教育研究センター 有満保江研究室に移転する。(次頁4.参照)

(2) 理事職を辞退された石垣健一会員に代わり南出眞助理事が地域担当理事を兼務(別掲)。

(3) 「地域研究会」の関西の拠点を追手門学院大学とし、南出眞助理事が連絡係を担当する。

(4) 今後の理事会のあり方について、理事各位がそれぞれの担当分野の再編に努める。

(5) 2006年日豪友好条約締結30周年を迎え、学会としての行事を企画・実施する。

(6) 豪日交流基金、Teach Australia関連事項の報告。

(7) 学会報の発行日程を見直し。次回の大会発表者募集を45号において早期に行う。(3頁参照) 大会案内の会報発行時期を1ヵ月早め、4月上旬に送付する。

(8) 学会ホームページについて、国立情報学研究所(NII)の学協会情報発信サービスからのリンクを申請中。著作権と情報保護に関して、対応策を引き続き検討する。

(9) 当学会において、4月1日から3月31日までを期間とする会計年度を採用する(次頁参照)。

(10) 新規入会6名、退会会員8名を承認する。

出席者 = 関根政美(代表理事)、有満保江、安藤充、加賀爪優、加藤めぐみ、鎌田真弓、小林信一、鈴木雄雅、竹田いさみ、田澤佳昭、橋本雄太郎、藤川隆男、松繁寿和、南出眞助(以上理事)、岡崎一浩、谷内達(以上監事)

第6期第2回運営委員会を、2005年8月29日名古屋商科大学で開催し、上記(3)、(5)等の理事会で検案事項とされた点と学会運営上の細かい点について検討しました。検討内容は次回理事会で諮ります。

2004/2005 年度決算報告**2005 年度予算****【収入の部】**

前年度からの繰越金	734,326	円
一般会費	1,225,000	
賛助会員	20,000	
雑収入	35,203	
収入合計	2,014,529	円

【支出の部】

印刷費	644,637	円
会議費	268,420	
謝金	2,400	
消耗品費	12,579	
通信費	120,410	
雑費	0	
支出合計	1,048,446	円
差引残高	966,083	円

【収入の部】

前年度からの繰越金	966,083	円
一般会費	650,000	
賛助会員	20,000	
雑収入	10,000	
収入合計	1,646,083	円

【支出の部】

印刷費	700,000	円
会議費	250,000	
謝金	10,000	
消耗品費	20,000	
通信費	150,000	
雑費	10,000	
「日豪交流年 2006」企画費	300,000	
小計	1,440,000	
予備費	206,083	
支出合計	1,646,083	円

会計年度の変更について：2005年度の会計年度は2006年3月31日までとします。

2006年度以降の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとなります。

2004年12月 2007年12月役員一覧

[代表理事] 関根政美

[副代表理事] 鎌田真弓

[総務担当理事] 橋本雄太郎

[会計担当理事] 安藤 充

[渉外・国際交流担当理事] 福嶋輝彦

[全国研究大会担当理事] 有満保江、南出眞助

[研究企画担当理事] 加賀爪 優、竹田いさみ、

松繁寿和

[学会誌担当理事] 小林信一、加藤めぐみ、

藤川隆男、有満保江*

[会報担当理事] 鈴木雄雅、田澤佳昭

[地域担当理事] 南出眞助*

[監事] 谷内 達、岡崎一浩

(*2005年6月の理事会において変更いたしました。)

4. 『オーストラリア研究』研究文献目録掲載のお知らせ

第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に係る目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。

編集作業の都合上、電子メール(またはテキストファイルを含んだFD)をご利用ください。

[記入例]は第15号(2003.3)を参照し、掲載書式に必ず準じる形でお送りください。

締切りは2005年10月30日(期日厳守)

投稿・連絡先：オーストラリア研究編集委員会

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学言語文化教育研究センター 有満保江気付

：0774-65-7070 / FAX：0774-65-7069 E-mail: yarimitu@mail.doshisha.ac.jp

宛先が変わりましたので、ご注意ください

なお、受信した旨をお知らせするメールが必ず返信されますので、ご確認ください。

全国大会研究発表の募集

オーストラリア学会 2006 年度総会・全国研究大会は 6 月 10 日(土)、11 日(日)の両日、**慶應義塾大学三田キャンパス** (〒108-8345 港区三田 2-15-45 電話:03-3453-4511(代))で開催されます。

日豪友好条約締結 30 周年にあたる 2006 年は、「2006 年交流年」として様々なイベントが日豪各々で予定されています。本学会も、来年度の全国研究大会メイン・シンポジウムを中心とした企画を予定しております。ミラー公使に基調報告をお願いした本年度の全国研究大会シンポジウムは、この先行企画として開催されました。来年は、さらに規模を拡大し、内容を充実して、シンポジウムを開催したいと考えております。また、本年同様、メイン・シンポジウムとは別個にミニ・シンポジウムも学会員の企画に基づいて行う予定で、既に申し込みがきております。

個別報告の発表を希望される会員は、氏名・所属・題目を明記の上、**11 月末日までに**、学会事務局あて書面(メール可)にてお申し込みください(200 字程度の要旨を添付してください)。例年の個別報告の申し込み時期より早くなっております。ご注意ください。

なお、第 13 回全国研究大会から、報告される会員には海外在住者に限り、交通費助成(一律 5 万円)を行うことになっております(2001 年 12 月 18 日第 5 期 1 回理事会決定)。発表申込の際に、その旨明記してください。

発表者ならびに交通費助成は、12 月開催予定の理事会で申請案件を審議、決定いたします。

地域研究会(関東・関西)への呼びかけ

代表理事 関根政美

去る 6 月 12 日の 2005 年度総会(於・同志社大学)においてご承認いただきましたように、2005 年度事業計画の一環として、関東・関西の 2 つの地区で「地域研究会」を開催することになりました。

この研究会の趣旨は、年 1 回の「全国研究大会」以外にもできるだけ発表の機会を数多く提供して若手研究者を支援するとともに、会員間の研究交流を活発にし、学会としてオーストラリア研究の発展に貢献することにあります。とりわけ関西にも拠点を設けることによって、大学院生には遠方への出張負担が軽減され、またこれまで大会ではご発表いただけなかったベテランの研究者にも気軽にご参加いただけるものと考えております。

当面は春・秋の年 2 回程度、土曜日の午後に実施する予定です。研究会の運営には、各地区の世話役があたりますので、発表申込みや発表者の紹介等は、下記の世話役までご連絡ください。一人でも多くの方がこの研究会にご参加くださることを期待しています。

記

(世話役氏名、*印は連絡係)

〔関東地区〕関根政美*、安藤充、田澤佳昭、橋本雄太郎、村上雄一

〔関西地区〕南出眞助*、有満保江、加賀爪優、鎌田真弓、窪田幸子、藤川隆男

【第 1 回 地域研究会(関西)のお知らせ】

日 時： 2005 年 11 月 26 日(土) 14:00~17:10 * 非会員の方も参加できます。

場 所： 茨木市西安威 2-1-15 追手門学院大学 オーストラリア研究所

: 072-641-9667 / FAX : 072-643-9476 E-mail : cas@jimu.otemon.ac.jp

会場はホームページでご確認ください。http://www.otemon.ac.jp/cas/

発 表 : 「チャイニーズとオーストラリアンのはざままで 若いチャイニーズ・オーストラリアンが語るアイデンティティ」 許 琳玲(名古屋大学大学院・博士後期課程)

「オーストラリア史はどこに向かうか? 「知」のグローバル化と歴史学」

津田博司(大阪大学大学院・博士後期課程)

「Jack Davis の The Dreamers 歴史と記憶」 佐藤 涉(立命館大学)

交 通： JR 茨木駅西口南へ 7 分 マイカル茨木横、阪急茨木市駅西口前から追手門学院スクールバス(無料) 13:30 発。ほかに阪急バスもあります。

今後、地域研究会に関しては、発表者が大学院生の場合に限り、居住地と研究会場間の交通費に関し、主要都市間の交通費実費の半額を、1 万円を極度額として、補助します。

新刊書のご案内

会員の方々より寄せられました新刊案内をご紹介します。

『はじめてのビジン語 パパニューギニアのことば』岡村 徹 著 三修社 2005年4月刊行

(価格: 本体1,800+税 ISBN4-384-05308-8) 著者のコメント: 500例文を収録。[構文解説]では、平易なことばで文法の説明がなされており、[主な単語]では、200の基本語彙が取り上げられています。また言語の習得とあわせて、[生活知識]の学習もおこなえるようになっています。

『アジア太平洋の国際経営 国際比較経営からのアプローチ』丹野 勲 著 同文館出版 2005年9月刊行

(価格: 本体3,500+税 ISBN4-495-37451-6)

***** 事務局からのお知らせ *****

《学会誌の最新号が届かない場合》

学会誌の最新号、第17号(2005年3月)が届いていない方は事務局へご連絡下さい。また、連絡先変更の場合は、お手数でも必ず下記事務局宛にご連絡下さい。

《オーストラリア学会会員の個人情報の取り扱いについて》

本学会は、これまで、隔年ごとに会員名簿を作成して会員の方々々に配布してまいりました。本年は、その作成年に当たります。しかし、周知のように、本年4月1日から個人情報保護法が施行されたことに鑑み、とりあえず、会員名簿の作成を見送ることに致しました。

ただし、会員間で、研究等のために連絡を取り合う必要もあることから、時間と手間はかかることとなりますが、事務局が責任をもって、その仲介をすることに致しました。このようにして、会員名簿を作成しないことによる弊害をできる限り取り除いた形で、当面運営させていただくことになりました。このことは、本年6月の学会総会でも確認させていただいております。

そこで、この際、事務局としては、個人情報をどの範囲で他の会員の方にお伝えしてよいか、会員の方々に改めてお尋ねすることに致しました。お手数でも、同封いたしました戻り葉書に必要事項をご記入の上、ご投函いただけますようお願い申し上げます。

なお、会員の方々の個人情報取り扱いに関する学会としての指針を下記にお示し致します。

個人情報の取得に関して

ご芳名、自宅住所、電話番号、ファクシミリ番号、メールアドレス、勤務先、勤務先住所、勤務先電話番号、勤務先ファクシミリ番号、専門分野、関心領域などの情報は、学会入会申込書から、事務局が入手したものに限りです。

個人情報の利用に関して

事務局が上記により入手した情報は、会報及び学会誌の発送に使用するほか、会員の方から研究上の目的で個人情報を入手したい旨の申し出があった場合に、事務局の判断で、あらかじめお認めいただいている範囲内の情報のみ、申し出のあった会員の方にお伝えすることに致します。

個人情報の管理について

会員の個人情報は、学会事務局が適切に管理します。また、会員ご本人の了解なく会員の個人情報を学会会員以外の第三者に提供することは致しません。さらに、発送業務を委託する外部業者とは個人情報に関する覚書を交わし、不正な利用が行われないよう徹底致します。

このように、個人情報の取り扱いにつきましては、学会事務局で万全を期していきたいと考えております。ご理解の程、宜しく申し上げます。

〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476 杏林大学総合政策学部 橋本雄太郎研究室気付
オーストラリア学会事務局 : 0426-91-0011(代) / FAX : 0426-91-5899
E-mail: hashimotobunch@mri.biglobe.ne.jp

本年4月より事務局が移転しましたので、ご注意ください

会費振込先: 00190-3-157063 加入口座名: オーストラリア学会

本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、事務局または会報担当理事までお送りください。(宛先: 鈴木、HAF00025@nifty.ne.jp / 田澤、ytazawa@dohto.ac.jp) [編集担当: 田澤佳昭(道都大学)]